

上水道施設修理業務 仕様書

(目的)

第1条 上水道施設修理業務(以下「業務」という。)は、年間を通じ昼夜を問わず修理体制を確立させ迅速な漏水等の修理を行うことにより、漏水等による2次災害および有収率低下を防止することを目的とする。

(履行期間)

第2条

業務期間

開始日時：令和8年6月1日 8時30分

終了日時：令和9年6月1日 8時30分

(業務の範囲)

第3条 受注者は、発注者からの指示又は、奈良県広域水道企業団 橿原・大和高田・明日香エリアお客様センター(以下、「お客様センター」という。)からの連絡取次ぎにより迅速に対応し修理を行う。なお、修理範囲は、配水管、給水管その他の付属施設及び発注者が指示するものとする。

実施にあたっては、本仕様書に基づいて行うこと。ただし、発注者が特別の事情があると認めるときは、発注者と協議の上、受注者以外の者に漏水等の修理を行わせることができるものとする。

(秘密の保持)

第4条 受注者は、業務上知り得た秘密を、他人に漏らしてはならない。なお、受注者でなくなった後も同様とする。

(権利義務の譲渡の禁止等)

第5条 受注者は、この契約によって生じる権利または義務を、第三者に譲渡し、継承させ、またはその権利を担保に供してはならない。

(履行場所)

第6条 履行場所は、明日香村内（明日香村飲料水供給施設エリア除く）とする。

(業務)

第7条 受注者は、漏水等の修理に従事する者（以下「従事者」という。）を（4）に定める条件のとおり人員配置を行うこと。また、同時多発的な漏水や夜間待機時間中の漏水等が発生しても応援体制を組み、修理が滞らないようにしなければならない。

（1）従事者は修理の要請を受けた後、現地を確認し修理の方法を判断し、相互に連絡調整し、応援を求める等状況に応じた適切な人員・材料・機械器具・交通整理員等を手配及び準備し、責任を持って行わなければならない。（発注者が同行する場合であっても、職員は指導、監督するためのもので、漏水等の修理の補助を行うものではない。）

なお、漏水等の修理がない場合については、突発事故に備えてすぐ対処できる体制をとらなければならない。

（2）漏水等の修理については、発注者の指示がある場合を除き、修理要請を受けた当日内にすみやかに遂行しなければならない。

なお、正当な事由により修理要請を受けた当日内に遂行できないときは、直ちにその旨を発注者に報告し、指示を受けなければならない。

（3）従事者は、漏水等の修理に精通している2年以上の実務経験を有した者とする。また、受注者と3ヶ月以上の直接的かつ恒常的な雇用関係があることとし、漏水等の修理の材料及び方法を自ら判

断でき、必要な知識及び技能を修得している者でなければならない。

- (4) 受注者は予め、本業務に従事させる者と所属会社の雇用関係を明らかにする書類と経歴書を提出しなければならない。また、新規の者が従事する場合も同様である。更に受注者はこれら従事者の氏名、緊急連絡先、を契約締結後、業務開始までに発注者に提出するものとする。
- (5) 漏水等の修理に使用する材料は、原則的に受注者が責任をもって準備するものとする。ただし、指示がある場合は発注者が所有する材料を使用するものとする。

(遵守事項)

第8条 受注者は、次の各号に定めることを遵守し、業務を行わなければならない。

- (1) 従事者は「奈良県広域水道企業団給水装置工事施工基準」、「奈良県広域水道企業団共通仕様書」や発注者からの指示等に基づき誠実に行わなければならない。
- (2) 従事者は、断水及び公道掘削等を伴うときは、速やかに発注者に連絡し、その指示に従い地元調整を行い、地下埋設物に留意して修理しなければならない。
なお、仕切弁等の操作については、発注者の指示がある時以外は操作しないこと。ただし、戸建ての家屋等の給水管に設置されているバルブ等の操作については、この限りではない。
また、道路復旧については、土砂の入替及び埋設標識シートを敷いて十分な転圧を行い、舗装補修材等にて、在来路面等と凹凸のないよう直ちに復旧を行うこと。
- (3) 道路上での作業は、標識、バリケード、照明、交通誘導員等で十分な安全対策を講じること。
- (4) 修理にあたっては現状復旧を基本とするが、漏水リスクの低減や維持管理の向上が見込まれる場合は、受注者と協議の上、発注者の指示する配管材料を使用しての修理を可能とする。
- (5) 作業後に、道路や水路、及び宅地内に土砂等の清掃を行い周辺住民の生活環境を損なわないこと。
また、給水管の埋設位置が特定できる場合は、官民境界付近に明示ピンの設置等も行うこと。
- (6) 従事者は、村民に対しては、親切・丁寧に対応すること。
なお、従事者が、村民に不信を持たせる言動、態度をとった場合及び職員の指示に従わない場合に発注者は、必要な措置を取るべきことを請求することができる。
- (7) 受注者は、何時においても発注者と連絡が取れるようあらかじめ緊急連絡先を届出すること。
- (8) 受注者は、業務に必要な機械器具及び主要材料等を具備すること。
- (9) 受注者は、バックホウ等特殊重機を操作できる者及びダンプ、トラック等の運転ができる者を確保すること。
- (10) 受注者は、本業務により発生した残土・建設副産物は、廃棄物処理法に基づき適正に処理すること。また、掘削した箇所は「奈良県広域水道企業団給水装置工事施工基準」、「奈良県広域水道企業団共通仕様書」に基づき適正に埋め戻しをすること。ただし、発注者が特別の事情があると認めるときは、この限りではない。
- (11) 受注者は、業務の履行にあたっては、受注者全員が相互に連帯し責を負うものとする。
- (12) 受注者は、虚偽の報告をしてはならない。
- (13) 受注者は、従事者の身体障害をてん補する保険に加入し証券の写しを提出しなければならない。
- (14) 受注者は発注者が交付する「修理業務委託員証」に従事者に着用させなければならない。また、契約の解除又は従事者の退職等により、「修理業務委託員証」が不要となった場合には、発注者に返却するものとする。

(報告義務)

第9条 漏水等の修理中において、従事者は以下の事例を発見したときは、必ず報告すること。

- (1) 井戸、河川その他の水源と給・配水管とを直結している場合。
- (2) 料金を免れるための不正な工事をしている場合。

(3) その他関係法令等に違反している場合。

(完了報告)

第10条 受注者は、漏水等の修理が完了したときは、その都度速やかに、「修繕部材報告書」に必要事項を記載し、使用部材、修理箇所及び位置を特定できるよう周辺の構造物を含めて撮影した写真等とともに発注者に提出しなければならない。また、第三者による給水管等の破損により有償請求の可能性がある修理の場合は、相手方に聞き取りを行い、「業者確認シート」に記載し、速やかに発注者に提出することとする。

(修理負担区分)

第11条 受注者は、漏水等の修理について、企業団負担修理費用分（水道メーター上流側）、使用者負担修理費用分（水道メーター下流側）の区分を、発注者に確認し、住民とのトラブルの無いようにしなければならない。

(責任補修)

第12条 受注者は、漏水等の修理完了後2年以内に発生した故障については、無償で補修すること。ただし、天災地変等の不可抗力及び使用者側の故意又は過失による場合で、発注者が認めたときは、この限りでない。

(賠償責任)

第13条 受注者は、本仕様書の規定違反その他受注者の責に帰すべき事由により、発注者又は第三者に損害を与えたときは、その損害を賠償しなければならない。また、工事の施工に伴い、第三者に与える損害をてん補する保険に加入し証券の写しをすみやかに提出しなければならない。

(委託料及び支払い)

第14条 本業務のうち、待機に係る委託料は当該月ごとに受注者の請求に基づき支払うものとする。漏水等の修理に要した費用は、水道工事設計資材単価表（奈良県広域水道企業団）及び水道事業実務必携、工事材料については建設物価（(財)建設物価調査会）、積算資料（(財)経済調査会）及びカタログ価格等を参考に別途積算し、発注者が検査を行った後、当該月ごとに受注者の請求に基づき、支払うものとする。

(再委託の禁止)

第15条 受注者は、本業務の全部又は一部を、第三者に委託または、請負わせてはならない。（災害時等の対応）

第16条 受注者は、災害発生時等には、速やかに発注者の指示に従い業務に就かなければならない。

(規定外の事項)

第17条 本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合については、必要に応じて発注者と受注者で協議して定めるものとする。